

プログラム概要表

プログラム名	日本のNGOが抱える危機を踏まえて～小規模NGOが組織面及び事業面で困難な状況を打開し、組織としての持続的な成長や活動の質の向上が図られるようステップアップするための研修
実施目的	小規模NGO（予算1億円未満）が、組織マネジメントを見直し、運営メンバーの固定化・減少や有給スタッフへ仕事集中してしまう体制から脱却し組織を活性化させ、他のNGOの取り組みを参考に支援者や事業の参加者を増やす試みを実践する。本プログラムの提供を通じて、NGO同士の交流や専門的なスキルを持った人材とのつながりを形成し、NGOを取り巻く人材やノウハウの循環を後押しする。
実施背景	1980年代後半～2000年代前半に設立された日本のNGOはその数が多い。全国のNGOを対象とした調査が令和4年度に外務省NGO研究会によって実施され、その調査報告書は上記時期に設立された団体に活動規模の縮小・解散の危機が忍び寄っていると指摘している。事実、名古屋NGOセンターの加盟団体数は2018年からの5年の間に11団体が減少し、一定数のNGOが解散あるいは事務所や有休職員を手放すなどの大幅な規模の縮小を余儀なくされている。その他の加盟団体にもいつそのような危機が訪れてもおかしくない状況と言える。これは中部地域に限らず、日本全国のNGOにも当てはまる。このような中、活動経験を長く有する小規模NGOの課題である持続的な成長や活動の質の向上を図るための研修機会が求められている。また、新しく設立されたNGOと世代を超えたNGO同士の意見交換や経験交流を行い、相互に持てる力を合わせ、NGO全体を活性化させる必要がある。
実施期間	2024年5月～2026年9月（2年5カ月間）
実施金額	14,508千円
実施内容 <small>（何を何回行うか 簡潔に記載する）</small>	<p>【はじめに】 オリエンテーション（1回）</p> <p>【活動1】 非営利組織マネジメント講座（3回）と組織診断（10団体）</p> <p>【活動2】 活動内容と抱える課題のシェアリング（5回）</p> <p>【活動3】 事例の考察と意見交換（4回）</p> <p>【活動4】 組織および事業運営の強化につながる実践と伴走支援（5団体程度）</p> <p>【終わりに】 成果発表会（1回）</p> <p>※ワンコース（1年度）×2回の2年度制を導入する。 ※活動1～4のブロック単位での選択制を基本とする。（活動2は必須）</p>
プログラム 受講者(団体)	<p>① 開発途上国にて国際協力活動を実施している又はこれから実施予定の小規模NGO（予算1億円未満）のスタッフ等。</p> <p>② 日本国内にて開発教育・国際理解教育、在住外国人支援、平和構築、またはNGOの中間支援等に取り組む活動を実施している小規模NGO（予算1億円未満）のスタッフ等。</p> <p>③ すでに国際協力やNGOに関わったことがあり、さらに学びを深めたいと考えている個人</p>
受講者数	<p>定員：のべ970名 1コース【活動1-4】/年：485名×2年</p> <p>【活動1：定員240名】30名×3回+15名×10団体</p> <p>【活動2：定員50名】10名×5回</p> <p>【活動3：定員120名】30名×4回</p> <p>【活動4：定員75名】15名×5団体</p>
実施団体名	特定非営利活動法人名古屋NGOセンター
法人番号	7180005005284
実施体制	業務統括者、事務管理者、コースリーダー、サブコースリーダーで構成する企画会議を設置し、プログラム実施における進捗状況や受講者の情報を共有し、事業を円滑に実施する。